

令和7年4月1日

第250号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



◎「令和6年度 治山・林道工事コンクール」の表彰について

森林整備課・治山課・・・1

◎「国有林森林計画等検討会」及び「希少野生生物の保護と

森林施業等との調整に関する検討委員会」の開催について 計 画 課・・・8

◎ 第28回「森林（もり）は友達！作文コンクール」の受賞者決定

東京事務所・・・10

◎「国有林野事業において統一的に取り組む技術開発の課題」

超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用について

森林技術・支援センター・・・12

【写真】「野反湖（のぞりこ）」（吾妻森林管理署）

「令和6年度 治山・林道工事コンクール」の表彰について

森林整備課・治山課

令和7年2月27日、関東森林管理局において令和6年度治山・林道工事コンクールの表彰を行いました。

治山・林道工事コンクールは、国有林野の公益的機能を十分に発揮させ、林業・木材産業の成長産業化の推進、事業実施における施策効果の一層の発現に貢献した治山・林道工事であって、民有林の模範としてふさわしいものを表彰するものです。これにより、治山・林道工事における計画・設計・施工の適正化、設計・施工技術の向上、関係者の意欲高揚に資することを目指しています。



表彰式の様子

関東森林管理局管内では、令和5年度に完成した治山工事103件と林道工事49件のうち、署等から推薦のあった治山工事20件と林道工事4件について、学識経験者など3名の外部有識者を含む選考委員会が施工状況・出来ばえ等を総合的に審査し、特に優秀な6件の工事を林野庁へ推薦しました。その後、林野庁での審査により、このうち治山工事1件が農林水産大臣賞、治山工事2件と林道工事3件が林野庁長官賞を受賞しました。これらの工事については、2月18日に林野庁で開催された表彰式において表彰状の授与が行われました。

今回の関東森林管理局の表彰式では、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞を受賞した6件の工事の施工担当技術者及び監督職員と、その他に優良工事とされた4件の工事の施工会社に対して、関東森林管理局長賞の授与を行いました。



記念撮影（局長賞授与者（治山工事部門））



記念撮影（局長賞授与者（林道工事部門））

農林水産大臣賞

事業別	実行署名	工 事 名	施工者
治山	静岡森林管理署	小山地区（角取山Ⅰ外）直轄治山工事（R4ゼロ国）	小野建設（株）

林野庁長官賞

事業別	実行署名	工 事 名	施工者
治山	日光森林管理署	下桐久保沢地区（下桐久保沢）復旧治山工事（R4補正）	東武建設（株）
治山	吾妻森林管理署	白根地区地域防災対策総合治山工事（R4補正）	（株）武藤組
治山	下越森林管理署村上支署	薬師岳地区災害関連緊急治山工事	（株）山嘉土建
林道	棚倉森林管理署	宝地林業専用道新設工事（R4ゼロ国）	森本建設（株）
林道	群馬森林管理署	赤岩林業専用道改良工事（R4補正）	瑞穂建設（株）

関東森林管理局長賞

事業別	実行署名	工事名	会社名等
治山	上越森林管理署	上牧区域（A-I）直轄地すべり防止工事	太陽開発（株）
治山	伊豆森林管理署	荻野入地区復旧治山工事	河津建設（株）
林道	中越森林管理署	小松原林道改良工事（R4補正）	坂井建設（株）
林道	山梨森林管理事務所	本谷（本谷）林道災害復旧工事	中沢工業（株）

【農林水産大臣賞受賞工事】

工事名：小山地区（角取山1外）直轄治山工事（R4ゼロ国）

署等名：静岡森林管理署

受注者：小野建設株式会社

本工事は、被災鋼製枠の撤去、治山ダム工5基と流路工・丸太法枠工等の複数工種を2工区にて施工するという事業量が多い工事でしたが、計画的な工程管理と施工管理等により、無事故で工期内に完成することができ、その後の緑化状況や出来映えも良い工事でした。

このほか、ICT技術の導入や、現場環境の改善、安全対策、地域社会への貢献、現場視察や研修等の受入れなど、工事全体として様々な面で評価できる項目が多い優良な工事であることが高く評価されました。



小山地区（角取山1外）直轄治山工事（R4ゼロ国）

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：下桐久保沢地区（下桐久保沢）復旧治山工事（R4補正）

署等名：日光森林管理署

受注者：東武建設株式会社

本工事の施工地は急傾斜地であり、現場への乗り込みが非常に困難であったことから、モノレールによる人送運搬により労働過重の軽減を図るとともに、掘削作業にリモコン式無人掘削機を採用することで人員削減や安全作業に配慮したものとなっています。

工事の施工では、急傾斜地の作業における安全対策をしっかりと行いつつ、現地の地形に合わせて資材の加工を行うなど様々な工夫を積み重ね、見栄え良く綺麗に仕上げる事ができた点が高く評価されました。



下桐久保沢地区（下桐久保沢）復旧治山工事（R4補正）

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：白根地区地域防災対策総合治山工事（R4補正）

署等名：吾妻森林管理署

受注者：株式会社武藤組

本工事は、豪雨等で火山灰等が土石流となって流出する被害を防止するため、治山ダム工2基と付帯施設を施工しています。下流には観光地を結ぶ交通量の多い国道があるため、周囲の景観に馴染むよう、木製残存型枠を採用するとともに、流路工には現地発生の石礫を利用した施工としています。

更に、施工中、交通誘導員の配置による安全を図ったほか、工事看板の工夫による治山事業の必要性についての啓蒙活動などに取り組むなど、安全管理や観光地としての景観配慮等に秀でていることが高く評価されました。



白根地区地域防災対策総合治山工事（R4補正）

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：薬師岳地区災害関連緊急治山工事

署等名：下越森林管理署村上支署

受注者：株式会社山嘉土建

本工事は、令和4年8月の集中豪雨による被災地の災害復旧事業であり、村上市荒川地区の農業用水路の頭首工が直下に位置しています。

工事の施工にあたっては、頭首工に土砂を再流入させないための防止措置や安全対策を図りました。また、各行政機関の発注事業が集中する中、受注者は、配置人員を的確に確保して早期に工事に着手するとともに工事関係者や地権者等の調整を行い、早急な農地復興に関する要望に対して懇切丁寧に対応するなど、地域の要望に応えつつ迅速かつ安全に災害復旧治山工事を完成させることができたことが高く評価されました。



薬師岳地区災害関連緊急治山工事

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：宝地林業専用道新設工事（R4ゼロ国）

署等名：棚倉森林管理署

受注者：森本建設株式会社

本工事の施工地は『真砂土』と呼ばれる非常に脆い土壌です。降雨や流水による浸食を受けやすいことから、特に盛土面の安定を図る緑化において施工時に一定厚の層状に施工することにより、植生シート施工時までの浸食作用を軽減するとともに早期緑化を図るなど、土質を考慮した施工方法が高く評価されました。

残土処理場において、盛土部分に土砂を盛って止水効果を発揮させるなど、路体の崩落防止並びに保護の工夫を行った点についても高く評価されました。



宝地林業専用道新設工事（R4ゼロ国）

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：赤岩林業専用道改良工事（R4補正）

署等名：群馬森林管理署

受注者：瑞穂建設株式会社

本工事は、台風や集中豪雨等による落石・法面崩落が度々発生していた箇所の法面保護を目的とした改良工事です。土質・勾配及び法長等に応じ、全9か所を落石防護網工・ラス張工・植生マット工の3工種に区分して施工しました。落石防護網を施工した箇所においては、崩壊面の整地を最小限とし、植生部分を最大限残すことにより施工後の早期安定を図っています。

なお、本工事では、自署で当初設計を行った上で、施工箇所毎に詳細な工法等について受注者と協議し、コスト面や施工性等を考慮して適切な工種を選定したことも高く評価されました。



赤岩林業専用道改良工事（R4補正）

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：上牧区域（A-1）直轄地すべり防止工事

署等名：上越森林管理署

受注者：大陽開発株式会社

本工事は、人家の近くでの工事であったことから、資材搬入の際に先導車両や誘導員の配置など安全対策を実施したほか、鋼管杭の接合の際に発生する火花の飛散を防止するなど火災予防にも努めています。

地域への貢献及びSDGsの取組みとして、工事支障木の伐採跡地等にブナを植樹し周辺環境への配慮を図っているほか、予告看板の設置や地域住民への事前周知など丁寧な対応により良好な対外関係を築いたことなどが高く評価されました。



上牧区域（A-1）直轄地すべり防止工事

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：荻野入地区復旧治山工事

署等名：伊豆森林管理署

受注者：河津建設株式会社

本工事は、林道から離れた箇所での治山ダム工事であり、資材運搬や重機搬入はケーブルクレーンを使用するなど施工条件の悪い箇所での事業でした。渓流内に散在していた多数の転石・被害木については、受注者の提案によりダム下流に転石の敷並べを行ったほか、被害木を丸太柵として活用することにより有効活用を図ることができました。

重機の稼働範囲内の立木の損傷防止を行うなど周辺環境保全に配慮し、全体的に見栄えが大変良好な点が評価されました。



荻野入地区復旧治山工事

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：小松原林道改良工事（R 4 補正）

署等名：中越森林管理署

受注者：坂井建設株式会社

本工事は、大雨による路面洗堀や路肩崩壊など路面の維持管理に苦慮していた急勾配の林道において、アスファルト舗装と土側溝を施工することにより、路面への地表水の影響を最小限としたことが高く評価されました。

当該林道は地域の生活道にもなっており、災害時等の代替路として一般車両の通行が想定されることから、地表水の導水と道幅表示の目的で県産材を使用した木製アスカーブを設置するなど、木材利用の推進や安全に配慮した点についても高く評価されました。



小松原林道改良工事（R 4 補正）

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：本谷（本谷）林道災害復旧工事

署等名：山梨森林管理事務所

受注者：中沢工業株式会社

本工事は、梅雨前線の活動による集中豪雨の影響で路肩が決壊し、災害復旧工事として早期復旧が求められたことから、最小限のコンクリートの使用によるコストや工事期間の抑制などにより、早期完成を実現したことが高く評価されました。

施工時の安全対策として、土のうや落石防護ネットの設置など、安全面に配慮した創意工夫を行った点についても高く評価されました。



本谷（本谷）林道災害復旧工事

あらためて受賞された皆様にお祝い申し上げるとともに、今後も本コンクールの趣旨に則り、よりよい工事の施工となるよう努めていきます。また、山地災害等の発生時には森林土木に期待される役割に鑑み、速やかな復旧とその後の対策を進めてまいります。

「国有林森林計画等検討会」及び「希少野生生物の保護と森林施業等との調整に関する検討委員会」の開催について

計画課

国有林森林計画等検討会

関東森林管理局は、1都10県の森林面積の約3割に当たる119万haの国有林を管理しており、この広大な国有林を31の森林計画区に分けて5年ごとに地域管理経営計画等を策定しています。

令和6年度には下記の7計画区で策定しました。計画策定にあたり、森林管理署等やHPで計画書(案)を30日間縦覧し、一般の方からの意見を聴取しました。また、学識経験者等からの意見を聴取するため3月5日に「関東森林管理局国有林森林計画等検討会」を開催しました。

令和6年度に策定した計画区

県	森林計画区	森林管理署等
福島県	阿武隈川	福島森林管理署、白河支署
茨城県	水戸那珂	茨城森林管理署
群馬県	西毛	群馬森林管理署
千葉県	千葉南部	千葉森林管理事務所
新潟県	下越	下越森林管理署、村上支署
山梨県	富士川中流	山梨森林管理事務所
静岡県	静岡	静岡森林管理署

検討会当日は6名の検討委員に参加いただき、関東森林管理局で計画している施策や事業内容について説明の後、盛土規制法に係る国有林の対応、建築基準法の改正による木材の利用促進、機能類型ごとの森林区分の考え方、ナラ枯れ被害対策、頻発する山火事への対応、クマ剥ぎ被害対策等について、国有林として重要なさまざまな意見をいただきました。

いただいた意見をもとに、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」の実現に貢献できるよう、適切な計画の実行に努めてまいります。



検討会当日の様子

希少野生生物の保護と森林施業等との調整に関する検討委員会

国有林野の管理経営にあたっては、これまでも生物多様性基本法等を踏まえ、希少野生生物の保護にも配慮した生物多様性の保全の取組みに努めてきました。また、令和6年3月には、林野庁において「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」を策定・公表し、当指針では、森林管理における希少野生生物等への配慮についても明記されています。

関東森林管理局では、希少野生生物の生育・生息地周辺において森林施業等を行うにあたり、学識経験者からの助言を得て希少野生生物の保護に配慮した取組とするため「希少野生生物の保護と森林施業等との調整に関する検討委員会」（以下、委員会）を設置しています。

今年度は、3月10日に関東森林管理局にて委員会を行い、5名の委員に参加いただきました。委員会では、各森林管理署等より、森林施業等の予定や希少野生生物に配慮した施業の案等を説明した後、委員の皆様より、イヌワシがどの営巣地を使うかは産卵1週間ぐらい前に決まることもあるので、繁殖状況が分からない場合、事業の実施は広域で見合わせたほうが安全である、雛が確認された場合、巣立って飛べるようになるまでを確認すべき、クマタカは森の上すれすれを飛ぶことがあり、見下ろす位置からの観察では森が背景になって見つけにくいことから、低い所から見上げる形での観察が有効等のご助言をいただきました。

いただいたご助言をもとに、今後も希少野生生物の保護と森林施業等との両立を図っていきます。



検討委員会の様子

「森林・林業基本計画」：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/plan/attach/pdf/index-10.pdf>

「森林と生物多様性」：https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/top.html

「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針（概要版）」：

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/attach/pdf/top-5.pdf

第28回「森林（もり）は友達！作文コンクール」の受賞者決定

東京事務所

令和7年2月28日、一般社団法人東京林業土木協会主催（関東森林管理局東京事務所協賛）の第28回「森林（もり）は友達！作文コンクール」の表彰式が東京事務所で行われました。この作文コンクールは、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県に所在する森林管理署、高尾森林ふれあい推進センター等が行った森林教室や林業体験等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを作文にしてもらうことにより、森林・林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的としています。

平成9年から毎年開催されており、今年で28回目を迎え、総参加者数は3万4千人を超えました。今回は学校など22団体から1,487名の参加がありました。

一次審査と二次審査を通過し、最終審査の対象となった31作品の中から、最優秀賞（林野庁長官賞）1点、優秀賞（関東森林管理局長賞）3点のほか入賞作品16点が決定しました。



最優秀賞を受賞する成瀬さん

最優秀賞（林野庁長官賞）は、横浜市立美しが丘小学校4年生の成瀬圭悟さんによる「ぼくが学んだ森林の大切さ」が受賞しました。「森林を守り、できるだけ森林を増やす」「森林に住む動物や植物を大切にする」「森林やその中にくらす動物や植物についてもっと学び、その関係性を理解することが大事」という三つの視点から持論を展開し、「森林を大事にすること」が「自分たちの生活を守ることにつながる」という確かな思いがストレートに伝わる素晴らしい作品でした。

また、森林にあまり興味を持っていなかったものの、高尾山を訪れ植物の種類の多さに驚き、森林に対する見方が変わったという作品（優秀賞（関東森林管理局長賞）：町田市立成瀬中央小学校5年生 谷口喜春さん）、同じ場所に50年植わっている木に感動し、木材の魅力に気づき、森林や人々への感謝の気持ちが込められた作品（同：相模女子大学小学部4年生 中村美千香さん）、森林と人がそれぞれの役割を果たしながら支え合う重要性を強く訴える作品（同：西東京市立向台小学校5年生 水谷悠真さん）など、いずれも様々な気づきや感動が記された素晴らしい内容でした。



森林教室の様子

小林審査委員長から「今年も素晴らしい作品ばかりで、森林教室等の体験を通して子供らしい感動や感謝の気持ちが表現されていた」と挨拶があり、最優秀賞の成瀬さんが自らの作文を堂々と朗読しました。その後、畑東京事務所長から「森林教室などで学んだ皆さんは森のサポーターです。未来を担う皆さんの活躍を期待しています」とお祝いの言葉がありました。受賞された皆さんの誇らしげな顔がとても印象的でした。

受賞された皆さんの作品名と最優秀賞の作文を東京事務所のホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

令和7年度も、この作文コンクールを実施する予定です。森林教室や林業体験などに参加し、多くの皆さんに作文をかいていただきたいと考えています。



受賞者と保護者、審査員の皆さんの皆さん

第28回「森林は友達！作文コンクール」受賞者

■最優秀賞（林野庁長官賞）

成瀬 圭悟 横浜市立 美しが丘小学校(4年生)

■優秀賞（関東森林管理局長賞）

谷口 喜春 町田市立 成瀬中央小学校(5年生)

中村 美千香 相模女子大学小学部(4年生)

水谷 悠真 西東京市立 向台小学校(5年生)

■優良賞（東京林業土木協会長賞）

橘田 裕人 甲府市立 相川小学校(5年生)

金 蓮莉 横浜市立 美しが丘小学校(4年生)

後藤 菜々美 八王子市立 第三小学校(5年生)

外林 薫 八王子市立 秋葉台小学校(5年生)

中島 悠人 西東京市立 向台小学校(5年生)

藤岡 咲歩 西東京市立 谷戸小学校(5年生)

■努力賞（東京林業土木協会長賞）

秋月 湊翔 八王子市立 秋葉台小学校(5年生)

石井 心羽 八王子市立 元八王子東小学校(5年生)

石井 優風 八王子市立 上川口小学校(5年生)

岡崎 遍音 多摩市立 連光寺小学校(5年生)

越智 ひかる 立川市立 第五小学校(5年生)

中元 樹里 多摩市立 連光寺小学校(5年生)

蜂巢 千代 板橋区立 上板橋第四小学校(5年生)

道廣 理沙 相模女子大学小学部(4年生)

宮寺 彩音 東村山市立 北山小学校(5年生)

山崎 瑞己 横浜市立 美しが丘小学校(4年生)



← 関東森林管理局東京事務所のホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tokyo/index.html>

『国有林野事業において統一的に取り組む技術開発の課題』 超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用について 森林技術・支援センター

エリートツリーとは、成長や材質等の形質の良い精英樹同士的人工交配等を行って得られた個体の中から成長が優れたものを選抜して得られた第2世代以降の精英樹をいいます。このうち成長や雄花着生性等の基準を満たす「特定母樹」から採取された種穂から育成された苗木を「特定苗木」といいますが、これらの苗木が良好に成長するには、成長初期に十分な栄養分を必要とします。

当センターでは令和7年度において、植栽後にも効果を発揮する超緩効性肥料を用いた場合の「特定苗木」の成長促進効果と植栽適地などの検証を行うこととしており、今回はその概要をご紹介します。

1. 試験地

(1) 令和7年度開始

- ・ 棚倉森林管理署 福島県東白川郡塙町大字那倉字櫛沢国有林108つ林小班
試験地面積：2.26ha
- ・ 静岡森林管理署 静岡県富士宮市上出富士山国有林267ろ2林小班
試験地面積：2.28ha

(2) 令和8年度開始

- ・ 茨城森林管理署管内（令和7年度に試験地を選定）

2. 試験期間

- (1) 令和7年度～令和11年度 5か年
- (2) 令和8年度～令和12年度 5か年

3. 試験の概要（令和7年度開始）

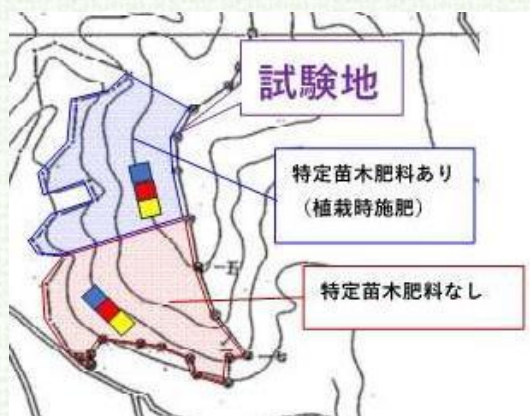
(1) 棚倉森林管理署

使用苗木：福島県産スギ特定苗木（コンテナ苗 300CC）
福島県産スギ普通苗木（コンテナ苗 300CC）

	肥料あり区域（植栽時施肥）	肥料なし区域
調査プロット数	3プロット	3プロット
プロットの面積	0.0225ha×3プロット	0.0225ha×3プロット
各調査プロット	A 超緩効性肥料あり （植栽時施肥） B 超緩効性肥料なし C 普通苗	A 超緩効性肥料あり （植栽時施肥） B 超緩効性肥料なし C 普通苗

- AとBは福島県産スギ特定苗木を植栽。
- Aの植栽時に超緩効性肥料（360日型）2gを植穴へ施肥。
- 苗木の植栽、植栽時の施肥については、造林請負事業で行う。
- 超緩効性肥料（360日型）は官物支給。

・試験地位置図



調査プロット

区域	苗木の種類	面積(ha)	植栽数
■	特定苗木	肥料あり (植栽時施肥)	0.045
		肥料なし	0.045
■	普通苗木	0.045	98
計		0.135	294

コンテナ サイズ	苗木供給先	備 考
300	福島県産	【各プロット共通】
300	福島県産	面積: 15m×15m=225㎡
300	福島県産	植栽数: 49本 (7×7列)

(2) 静岡森林管理署

使用苗木: 静岡県産スギ特定苗木 (コンテナ苗 300CC)

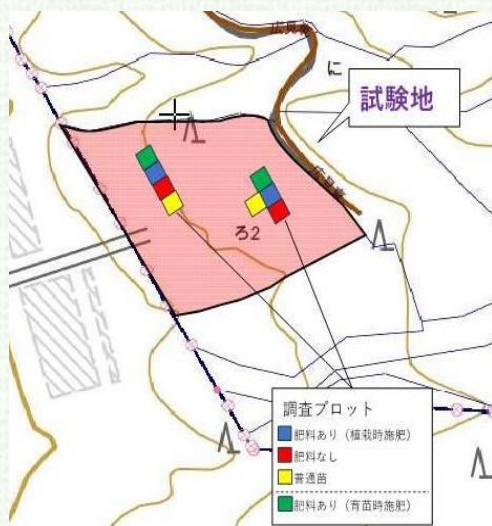
静岡県産スギ普通苗木 (コンテナ苗 300CC)

超緩効性肥料 (700 日型) 配合の静岡県産スギ特定苗木 (コンテナ苗 300CC)

	超緩効性肥料区域
調査プロット数	8 プロット
プロットの面積	0.0225ha×8 プロット
各調査 プロット	A 超緩効性肥料あり (植栽時施肥) B 超緩効性肥料なし C 普通苗 D 超緩効性肥料あり (育苗時 700 日型施肥)

- A と B は超緩効性肥料配合していない静岡県産スギ特定苗木を植栽。
- A には植栽時に超緩効性肥料 (360 日型) を植穴へ 2 g 施肥。
- 苗木の植栽、植栽時の施肥については、造林請負事業で行う。
- 超緩効性肥料 (360 日型) は官物支給。
- D は超緩効性肥料配合済みの静岡県産スギ特定苗木を植栽。
-

・試験地位置図



調査プロット

区域	苗の種類		植栽 面積(ha)
	特定苗	肥料あり (植栽時施肥)	0.045
		肥料なし	0.045
	普通苗		0.045
	特定苗	肥料あり (育苗時施肥)	0.045
計			0.180

植栽 本数	コンテナ サイズ	備 考
98	300	2 年生苗
98	300	2 年生苗
98	300	2 年生苗
98	300	1 年生苗 (参考調査)
392		

4. 今後のスケジュール

実施内容	R6				R7												R8～R11			
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	春	夏	秋	冬
プロットの設定																				
地拵え（請負事業）																				
植付け（請負事業）																				
植生調査																		○		
生育状況調査																			○	
現地巡視																	巡視業務の中で			
雑灌木の状況に応じ 下刈り（請負事業）																			判断に応じ	
次年度の下刈り判断																		○		

この技術開発課題は5か年としており、最終年度までにデータ及び課題等の整理を行い、成果報告を行うこととしております。

今月の表紙

「野反湖」（吾妻森林管理署）

野反湖とその周辺は上信越高原国立公園内にあり、「日本美しい森 お薦め国有林」にも選定されている自然休養林です。湖畔には、レンゲツツジ、ノゾリキスゲ、コマクサなど多くの高山植物が生育しており、キャンプやハイキングなど多くの人々に利用されています。

また、草津温泉をはじめとする多くの温泉場も近く、こうした地域からの日帰り観光、アウトドアスポーツも楽しめます。

